

エコアクション21 環境活動レポート



対象期間

平成 **29** 年 **8** 月～平成 **30** 年 **7** 月
(**2017** 年) (**2018** 年)

株式会社 柏原鐵工所

平成 **30** 年 **12** 月 **1** 日 作成

目 次

1	社長挨拶	1
2	事業活動の概要	2
	会社概要	
	組織図	
	活動体制	
3	環境方針	4
4	活動指針	4
5	活動目標	5
6	環境活動計画	7
7	今年度の目標、実績、評価	8
8	その他の環境活動	9
9	今年度の活動評価（平成29年度）	11
10	該当環境関連法規、訴訟の有無	12
11	地震、火災等による緊急時対応マニュアル	13
12	代表者による評価	14
13	来年度に向けて	15

社長の挨拶

平成30年9月の自民党の総裁選によって、安倍総裁が石破候補を破り連続3選を果たし2021年の任期まで『自民党総裁＝首相』を続けられることになりました。今までの安倍政治が承認されたことになり、アベノミクスも好調と言われて、来年10月の消費税10%に向かっていくものと思われます。2020年の東京オリンピック・パラリンピックや東北大震災の復興特需もありますが、そろそろ次の一手二手先を考えたほうが良いのではないかと思います。

建設業界では、人手不足に拍車が掛って人件費を上げるか安い労働力（外国人）に頼るかの選択に迫られています。政府は外国人労働者を増やそうとしていますが、これは多くの問題があると思います。解決策としてはロボット技術やAI技術を活用して対応することを考えています。

環境問題では、温暖化の影響なのかハリケーンや台風の規模が巨大に、発生数も多くなり物的人的被害が甚大になっています。また、海洋汚染も深刻でプラスチックゴミが川から海に流れ込みクジラやウミガメなどに悪影響を与えています。

我々としてもできることはしっかりとやらなければいけないと思います。今後も皆様のご協力をお願いしたいと思います。



平成30年12月

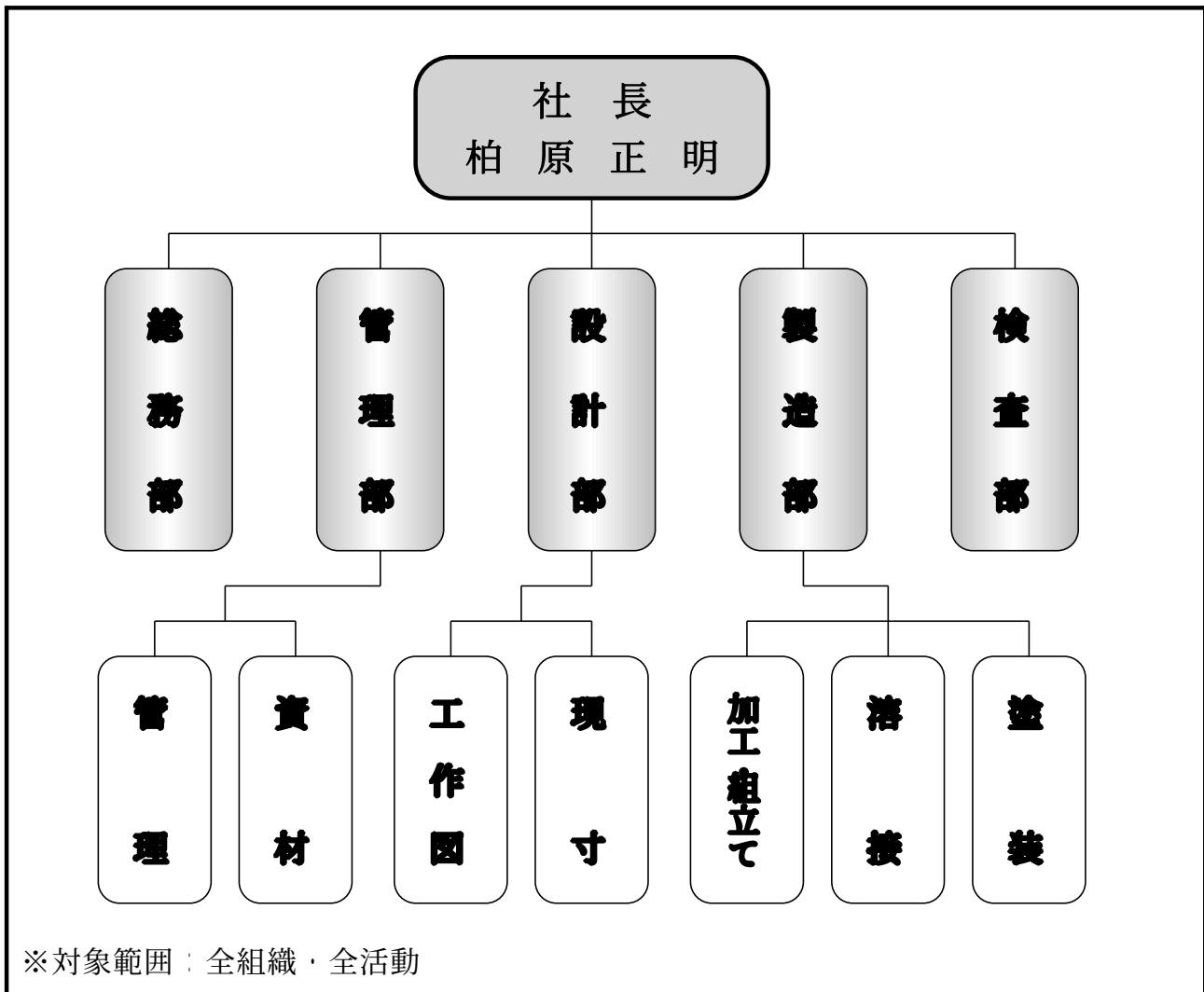
株式会社 柏原鐵工所
代表取締役社長 柏原正明

事業活動の概要

会社概要

事業所名 代表者名	 株式会社 柏原鐵工所 代表取締役社長 柏原正明														
住所・連絡先	本社・工場 〒425-0045 静岡県焼津市称宜島124-2 大井川工場 〒421-0203 静岡県焼津市藤守2045 電話 054-624-5803 FAX 054-623-0046 web http://e-kashiwa.com/ e-mail info@e-kashiwa.com														
建設業許可	建築工事業・鋼構造物工事業 静岡県知事許可（般ー28）第2124号 大臣認定 全構協Hグレード 認定番号 TFB H-172185														
事業内容	一般建築鉄骨・鉄骨耐震ブレース・鉄骨階段・鉄骨製作及び鉄骨工事														
事業の規模	従業員数 34名（平成30年11月 現在） 資本金 800万円 売上高 約8億8,713万円（平成29年度 実績） 延べ床面積 3,580.3㎡														
主要取引先 （敬称略 50音順）	<table border="0"> <tr> <td>白幸産業株式会社</td><td>木下建設工業株式会社</td></tr> <tr> <td>株式会社 国都</td><td>五光建設株式会社</td></tr> <tr> <td>近藤建設工業株式会社</td><td>清水建設株式会社</td></tr> <tr> <td>株式会社 住金システム建築</td><td>瀬戸建設株式会社</td></tr> <tr> <td>第一建設株式会社</td><td>東急建設株式会社</td></tr> <tr> <td>戸田建設株式会社</td><td>株式会社 橋本組</td></tr> <tr> <td>名工建設株式会社</td><td></td></tr> </table>	白幸産業株式会社	木下建設工業株式会社	株式会社 国都	五光建設株式会社	近藤建設工業株式会社	清水建設株式会社	株式会社 住金システム建築	瀬戸建設株式会社	第一建設株式会社	東急建設株式会社	戸田建設株式会社	株式会社 橋本組	名工建設株式会社	
白幸産業株式会社	木下建設工業株式会社														
株式会社 国都	五光建設株式会社														
近藤建設工業株式会社	清水建設株式会社														
株式会社 住金システム建築	瀬戸建設株式会社														
第一建設株式会社	東急建設株式会社														
戸田建設株式会社	株式会社 橋本組														
名工建設株式会社															
エコ アクション 21	<table border="0"> <tr> <td>認証・登録番号</td><td>0004784</td></tr> <tr> <td>認証・登録日</td><td>平成22年3月29日</td></tr> <tr> <td>有効期間</td><td>平成32年3月28日</td></tr> <tr> <td>環境管理責任者</td><td>中島初江</td></tr> <tr> <td>実務担当者</td><td>中島重男</td></tr> <tr> <td>連絡先</td><td>k.kajiya@ka.tnc.ne.jp</td></tr> </table>  エコアクション21 認証番号0004784	認証・登録番号	0004784	認証・登録日	平成22年3月29日	有効期間	平成32年3月28日	環境管理責任者	中島初江	実務担当者	中島重男	連絡先	k.kajiya@ka.tnc.ne.jp		
認証・登録番号	0004784														
認証・登録日	平成22年3月29日														
有効期間	平成32年3月28日														
環境管理責任者	中島初江														
実務担当者	中島重男														
連絡先	k.kajiya@ka.tnc.ne.jp														

組織図



環境管理における活動体制

代 表 者	柏原正明 ・ 環境活動の目標及び計画の承認 ・ 環境活動全体の評価と見直し ・ 環境方針の策定及び改訂 ・ 経営資源の準備	連絡担当者
環境管理責任者	中島初江 ・ 環境活動の計画立案及び実施と経営者への報告 ・ 環境活動の自己チェックの実施 ・ 環境方針及び活動計画の見直し	
実務担当者	中島重男 ・ 管理責任者の補佐 ・ 管理データの収集及び比較整理 ・ 『環境活動レポート』の作成	

環境方針

株式会社柏原鐵工所は、建設事業を經營していくに当り、地域との関わりを大切にし、環境に負担をかけないように配慮し、省資源化・省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を減らし、ごみ削減及び再利用・再資源化に寄与し、また、有害化学物質の低減を最大限に実現できるよう努力し、持続可能な循環型社会づくりを目指します。

このような活動を通して地球温暖化の防止に貢献します。

活動指針

1	事業活動において、省資源化・省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減を目指す。
2	事業活動において、工場や工事現場で発生する産業廃棄物の排出削減を目指すとともに、廃棄物の収集・分別を徹底して行い、再資源化できるようにする。
3	有害化学物質の含有量が少ない塗料の推奨に努める。
4	機械設備及び備品購入の際、グリーン購入の推奨に努める。
5	5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動を徹底する。
6	上記の活動を継続させるため、数値目標を設定して行い、査定・評価し、日々改善に努める。
7	事業活動において、弊社は環境関連法規制及びその他の関係法令を遵守し、環境保全に努める。
8	当社は上記活動を実施するに当り、本方針に従業員全員に周知徹底します。

改訂日：平成 29 年 10 月 1 日 （株）柏原鐵工所 代表取締役 柏原正明

活動目標

弊社では環境活動レポートの基準年を当初20年度としましたが、社会や経済状況の変化等により、基準年を22年度と26年度の2回基準年を変更しました。そして比較項目も徐々に増やし17項目として新たに基準値及び目標値を設定しました。

基準年である平成26年度の

仕事量を同等にしたうえで、毎年マイナス1%を目標値とする。

こととしました。

【基準値・目標値の設定方法】

- ①各年度の受注物件の増減により、目標値に対して実測値が大きく変動してしまうので単純に比較できない。そのため仕事量に直接関係のある鋼材の購入量（支給材も含む）を基準とし、その増減の割合を基準年の各データに掛け合わせ比較させます。

年度	鋼材購入量（支給材含む）	割合	基準値
平成26年度	3,764.2 t	100.0 %	基準年の各データ
平成27年度	3,873.8 t	102.9 %	←基準年に対する鋼材購入量の増減率
平成28年度	4,304.4 t	114.3 %	←基準年に対する鋼材購入量の増減率
平成29年度	6,274.5 t	166.7 %	基準年のデータに66.7%増加した数字が基準値となる

- ②上記表のとおり、基準年を100%と考えると今年（平成29年度）の鋼材購入量（支給材も含む）は66.7%増加している。よって基準年の各項目のデータの66.7%増の数値が仕事量同等数値（以下『基準値』という）という事とします。

$$\text{基準年の各項目のデータの数値} \times 166.7 \% = \text{基準値}$$

- ③上記計算を行うと各データ数値は基準年と同じ水準となり、比較出来る“基準値”となる。その基準値から3%削減した数値が平成29年度の《目標値》になります。

$$\text{基準年の各項目のデータの基準値} \times 97.0 \% = \text{目標値}$$

- ④これによって、平成29年度の各項目の《目標値》が出ます。この数値が【実測値】と比較出来るようになります。

この方程式を当てはめると平成29年度の各項目の目標値は、次項の表となります。



目標設定項目 (平成29年度)

年 度 比較項目		平成26年度 (2014年)	平成29年度 (2017年)		平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)
		基準年	基準値 基準年 × 166.7 %	目標値 基準値 × 97 %	目標値 基準値 × 96 %	目標値 基準値 × 95 %
電力使用量 (KWh)		186,847.0	311,449.9	302,106.4	－ 4 %	－ 5 %
水使用量 (m³)		478.0	796.8	772.9	－ 4 %	－ 5 %
コピー用紙 (kg)		831.2	1,385.6	1,344.0	－ 4 %	－ 5 %
化石 燃料	ガソリン (L)	3,442.0	5,737.4	5,565.3	－ 4 %	－ 5 %
	軽油 (L)	9,505.5	15,844.4	15,369.1	－ 4 %	－ 5 %
産業 廃棄物 排出量	鉄くず (kg)	235,630.0	392,764.9	380,982.0	－ 4 %	－ 5 %
	ダンボール (kg)	870.0	1,450.2	1,406.7	－ 4 %	－ 5 %
	埋立てゴミ (kg)	3,152.0	5,254.0	5,096.4	－ 4 %	－ 5 %
一般 廃棄物 排出量	燃えるゴミ (kg)	188.0	313.4	304.0	－ 4 %	－ 5 %
	その他の 資源ゴミ (kg)	971.0	1,618.5	1,570.0	－ 4 %	－ 5 %
炭酸ガス (kg)		31,670.0	52,789.8	51,206.1	－ 4 %	－ 5 %
酸素ガス (m³)		861.2	1,435.5	1,392.4	－ 4 %	－ 5 %
アセチレンガス (kg)		306.2	510.4	495.1	－ 4 %	－ 5 %
溶接棒 (kg)		18,380.0	30,637.1	29,718.0	－ 4 %	－ 5 %
塗料材 (kg)		9,366.2	15,612.2	15,143.8	－ 4 %	－ 5 %
有害化学物質 (kg)		1,037.0	1,728.6	1,676.8	－ 4 %	－ 5 %
二酸化炭素 (kg - CO ₂)		164,206.4	273,711.0	265,499.7	－ 4 %	－ 5 %

※購入電力のCO₂排出係数 0.474kg - CO₂ / KWHを使用。

※平成30年度以降の目標値はその年の鋼材購入量（支給材も含む）により変動します。

目標値について

単純に基準年と対照年度のデータを比較するのでは、その年度の仕事量によって大きく左右されるので比較するのは妥当ではないと判断しました。

この目標値の出し方は、鋼材購入量（支給材も含む）の増減が仕事量に一番影響されると考え、この増減の割合を他の項目にも反映させて比較しようというものです。この目標値の方が、実測値で比較する目標値より正確に比較出来ると考えました。

基準年を平成26年度としましたが、社会情勢の変化や受注先の変わりようで今後も基準年を変更することもあります。比較項目も当初の9項目より17項目としてより正確な判断ができるようになったと思います。この3年間で変わったのは、受注先が変わったことにより材料も鉄骨鋼材や塗料材の支給が多くなったことです。

環境活動計画（平成29年度）

取り組み事項	取り組み内容（詳細）
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5Sの徹底（整理・整頓・清潔・清掃・躰）
	機械設備の定期点検・整備の徹底
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・消電
	空調設備の温度設定の徹底（夏26℃以上 / 冬22℃以下）
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節
	照明器具・空調設備の定期的な清掃
	計画的な輸送・運搬の実現
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止
	安全運転の為のドライブレコーダー等安全装置の導入
	自動車の定期点検・整備の励行
	省エネタイプの設備機器の継続的導入
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	廃棄物を出さないために購入時の再検討
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用
	書類等の電子化推進
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底
	3Rの徹底 Reduce（ゴミ削減）Reuse（再利用）Recycle（再資源化）
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底
	材料在庫の管理
原材料や溶接材料に関する取り組み	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接棒や塗料材等を効率よく最適な量を使用する
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害物質の含有量が少ない、または有害物質が含まれていない塗料を提案する
水道水削減の取り組み	節水に努める
	止水の確認、漏水検査
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入
	防災訓練の実施
	地域社会における緑化運動の推進

今年度の目標・実績・評価

年 度 比較項目		平成 26 年度 (2014 年)	平成 29 年度 (2017 年)		平成 29 年度 (2017 年)	評 価
		基準年	基準値 基準年 × 166.7 %	目標値 基準値 × 97 %	実測値	
電力使用量 (KWh)		186,847.0	311,449.9	302,106.4	162,061.0	○
水使用量 (m³)		478.0	796.8	772.9	555.0	○
コピー用紙使用量 (kg)		831.2	1,385.6	1,344.0	660.9	○
化石 燃料	ガソリン (L)	3,442.0	5,737.4	5,565.3	1,848.7	○
	軽油 (L)	9,505.5	15,844.4	15,369.1	6,886.2	○
産業 廃棄物 排出量	鉄くず (kg)	235,630.0	392,764.9	380,982.0	236,036.0	○
	ダンボール (kg)	870.0	1,450.2	1,406.7	1,270.0	○
	埋め立てゴミ (kg)	3,152.0	5,254.0	5,096.4	3,269.0	○
一般 廃棄物 排出量	燃えるゴミ (kg)	188.0	313.4	304.0	945.0	×
	その他の 資源ゴミ (kg)	971.0	1,618.5	1,570.0	1,523.5	○
炭酸ガス (kg)		31,670.0	52,789.8	51,206.1	20,070.0	○
酸素ガス (m³)		861.2	1,435.5	1,392.4	602.0	○
アセチレンガス (kg)		306.2	510.4	495.1	249.9	○
溶接棒 (kg)		18,380.0	30,637.1	29,718.0	23,040.0	○
塗料材 (kg)		9,366.2	15,612.2	15,143.8	29,903.8	×
有害化学物質含有量 (kg)		1,037.0	1,728.6	1,676.8	8,062.4	×
二酸化炭素排出量 (kg - CO ₂)		164,206.4	273,711.0	265,499.7	133,811.7	○

※購入電力の CO₂ 排出係数 0.474kg - CO₂ / KWH を使用。

評価としては・・・

平成 29 年度のデータは、17 項目中目標値を上回ったのが 3 項目となりクリアできた項目が徐々に多くなりました。これは鋼材購入量の増減率が 166.7 % となったことが大きいと思います。

個別に見ていくと、【水使用量】はクリアしていますが、これは増減率 166.7 % に助けられたように思います。【電気使用量】や【コピー用紙使用量】・【化石燃料】2 種がかなり良い数字でクリアできているのは良いことです。これに比べて【一般廃棄物】の“燃えるゴミ”がクリア出来なかったのは残念です。“資源ゴミ”はギリギリでクリアできましたが、これも増減率に助けられたように見えます。【溶接ガス】3 種は増減率に比べ大変少なくなっています。エネルギー効率が良くなったと云う事でしょうか。又、【溶接棒】はクリアできているのに【塗料材】がクリア出来なかったのは残念ですが、この項目は 3 年連続でクリア出来ていません。これは【有害化学物質】も同様です。塗料材の中に A 社の支給材があり、8,062kg の中で支給材に含まれる含有量が 90 % 強の 7,312kg となっており、施工主様に塗料材の変更を求めることが緊急の課題かと思います。因みに基準年の年には支給材はありませんでした。

この続きは P15 です。

その他の環境活動

本年度は、平成30年4月より大井川工場が新設され仕事も増えているようで喜ばしいことですが、人手不足で人材確保が厳しい状況で苦勞していますが、そんな中でも環境活動が続けていかなければなりません。

東海沖地震が予想される中で、11月9日、焼津市が今年から始めた『シェイクアウト訓練』を弊社も参加しました。地震が発生した時に怪我を防止するための安全対策を取れるか、迅速に避難行動が取れるか、の訓練を行いました。

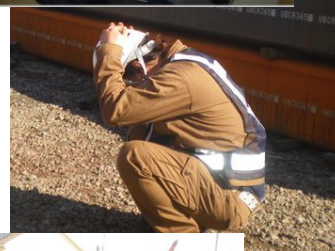
身を守る3つの安全確保行動

- 1. まず低く
 - 2. 頭を守り
 - 3. 動かない
- } 1分間動かない

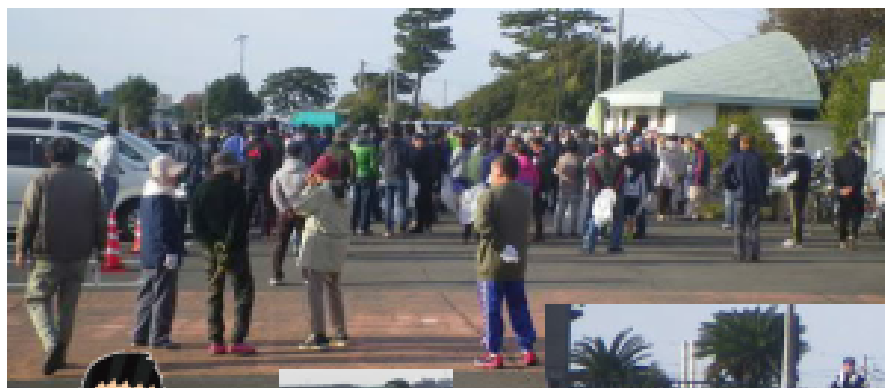
事務所内・工場内・ストックヤード等で、机の下に隠れたり屈んで頭を守り揺れが収まるまで1分間動かずジッとしていましょう。

地震の揺れが収まったら、周りの安全を確認してから外に出て避難経路の安全も確認しながら集合場所に集まりました。

最後に社長よりお言葉を頂き解散となりました。ご苦勞様でした。

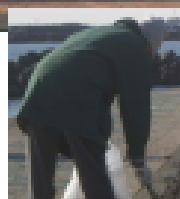


11月26日、毎年行っている海岸の清掃活動に参加しました。昨年は雨天中止となり2年ぶりとなります。浜当目海岸の清掃に行きましたが多くの市民の参加で賑わっていました。



海岸に着くと市の職員らしき人がゴミ袋を配り、市民は動きやすい恰好で軍手をしチョンチョン鍬や火バサミを持ち海岸に散って行きました。

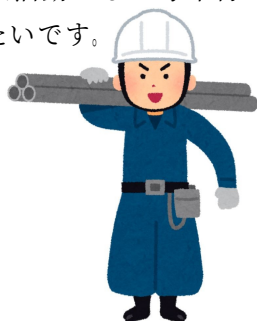
海岸には流木が多く、空き缶・空き瓶・煙草の吸殻・レジ袋など生活ゴミがたくさん落ちていました。天気も晴れて皆さんうっすら汗をかきながら拾っていました。



長年保管していたもので、^{かね}予てより処分を考えていた“PCB容器”をやっと処分することができました。



6月8日、安全大会を行いました。建設現場は常に危険が付きまとう職場ですので、事故を無くす啓蒙活動として毎年行っていきたいです。



今年度の“グリーン購入”で主要な対象商品をリストアップしてみました。

商 品 名	用 途	メーカー	購入先
スラリ 0.7	ボールペン 黒	ゼブラ	MonotaRO
スラリ 0.7	ボールペン 赤	ゼブラ	MonotaRO
リサイクルインク JIT E50BZ (ICBK50用)	インクジェット	ジット	ケイティケイ
リサイクルインク JIT E506PZ (IC6CL50用)	インクジェット	ジット	ケイティケイ
テブラ PROテープ 白ラベル 36mm 黒文字	ラベル	キングジム	カウネット
レールクリヤーホルダー	クリアファイル	コクヨ	MonotaRO
リパクトナー CT201276 ブラック	プリンタ用トナー		ケイティケイ
リパクトナー CT201089 イエロー	プリンタ用トナー		ケイティケイ
今治ブランド のし掛け 御年賀タオル 5枚入×6	タオル	東進	カウネット
蛍光マーカー 蛍コート80 桃 10本	マーカー 桃	トンボ鉛筆	カウネット
蛍光マーカー 蛍コート80 黄 10本	マーカー 黄	トンボ鉛筆	カウネット
ホッチキス HD-10NX	ホッチキス	マックス	MonotaRO
マッキーケア極細つめ替えタイプ 赤	マジック	ゼブラ	MonotaRO
ドットイー シャープ スカイブルー	シャープペンシル	ペンテル	MonotaRO
ベーシックミーティング用テーブル 1575 DBR	テーブル	アイリスチトセ	カウネット
再生トイレットペーパー S100m 12個入り	トイレットペーパー	カウネット	カウネット
ケシピコスリム 詰替えテープ 幅4mm 10個	テープ	コクヨ	カウネット
モノ消しゴム PE-03A×5	消しゴム	トンボ鉛筆	カウネット
クリヤーブック〈ポケット交換タイプ〉	ファイル	リヒトラブ	MonotaRO

今年度の活動評価 (平成29年度)

取り組み事項	取り組み内容 (詳細)	評価	次年度
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5Sの徹底 (整理・整頓・清潔・清掃・躰)	△	継続
	機械設備の定期点検・整備の徹底	○	継続
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・消電	○	継続
	空調設備の温度設定の徹底 (夏26℃以上 / 冬22℃以下)	△	継続
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節	○	継続
	照明器具・空調設備の定期的な清掃	△	継続
	計画的な輸送・運搬の実現	○	継続
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止	○	継続
	安全運転の為のドライブレコーダー等安全装置の導入	○	継続
	自動車の定期点検・整備の励行	○	継続
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	省エネタイプの設備機器の継続的導入	△	継続
	廃棄物を出さないために購入時の再検討	○	継続
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用	○	継続
	書類等の電子化推進	○	継続
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底	○	継続
	3Rの徹底 Reduce (ゴミ削減) Reuse (再利用) Recycle (再資源化)	○	継続
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底	○	継続
原材料や溶接材料に関する取り組み	材料在庫の管理	○	継続
	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接棒や塗料材等を効率よく最適な量を使用する	○	継続
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、または有害化学物質が含まれていない塗料を提案する	×	継続
水道水削減の取り組み	節水に努める	○	継続
	止水の確認、漏水検査	△	継続
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入	○	継続
	防災訓練の実施	○	継続
	地域社会における緑化運動の推進	△	継続

該当環境関連法規、訴訟の有無

法律名	該当する要求	該当整備・項目	届け出先・報告先	評価項目	評価
建築基準法	・建築基準の遵守 ・建築工事業の許可	・設計・施工 ・工事業 ・工場	静岡県 国土交通省	許可期限	○
				認定期限	○
廃棄物処理法	《一般廃棄物》 ・一般廃棄物収集 業者許可確認	・紙くず ・木くず その他	なし	許可業者	○
	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託業者との 契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 60cm×60cm以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 マニフェストの集計、報告	・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他	マニフェストの期限 内返却しない場合 ……………知事へ報告 前年度の交付状況 ……………知事へ報告	契約書 許可書	○
				マニフェスト管理	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・管理責任者の設置 ・処理の委託先の実地確認 とその記録の保存	・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他	不適正な処理が行われた場合 ……………知事へ報告	委託業者	○
騒音規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
振動規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・ボール盤 ・研磨機 ・ショットブラスト	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
浄化槽法	・浄化槽の設置 ・変更の届け出 ・法定点検	・分離式 バッキ方式 20人	新設・変更の場合 ……………知事へ届け出	新設・変更	○
				点検 1回/3ヶ月	○
消防法	・指定可燃物の届け出 (指定数量の1/5以上)	・塗料 2,000kg	焼津消防署	新規・変更	○
高圧ガス保安法	・アセチレンガス 0.2メガパスカル以上 ・酸素ガス 1メガパスカル以上江 ・液化炭酸ガス	・アセチレンガス	静岡県省庁 ……………知事へ届け出	許可期限	○
				保安基準	○
建設リサイクル法	・建設副産物 鉄、コンクリート 他	・対象建設工事 ・解体建設工事	静岡県省庁 ……………知事へ報告	マニフェスト管理	○
PRTR法	・有害化学物質管理	・キシレン、トル エン、鉛	静岡県省庁 ……………知事へ届け出	許可期限	○
フロン排出抑制法	・冷凍空調機器 全ての第一種特定機器が 対象	・自社に於いて簡 易点検実施 (3ヶ月に1度以上)	企業・法人の管理者 が確認		○

遵守評価日：平成30年10月31日

法規制の遵守評価の結果、逸脱は有りませんでした。

過去3年間、当事業所における業務上関係のある法令及び条例違反、地域住民利害関係者からの訴訟及び苦情はありません。

地震、火災等による緊急時対応マニュアル

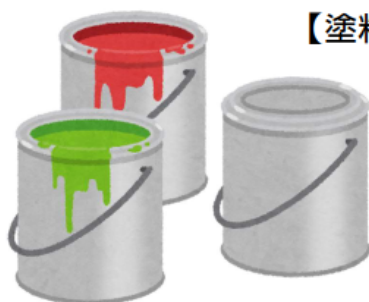
1. 適用範囲	鉄工場敷地内（工場、事務所、資材置き場 他）
2. 目的	予防処置、発生時の処置を定め、汚染拡大を防止する。
3. 予防措置	①工場内及び作業中は“禁煙”とする。（休憩時間に指定場所でのみ喫煙） ②指定場所には消火器を設置し、法定点検を厳守する。 ③工場内等で火気を使用する場合は周りを片付け、燃えやすい物がないか安全を確かめてから実施すること。 ④重量物を保管する場合はあまり高く積み上げない事。 やむを得ず積み上げるときは、荷崩れしないような対策を講じておく事。 ⑤5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底。
4. 緊急時の対応 (地震・火災)	地震、火災等が発生した場合、人命を第一に行動すること。 ①緊急時、人が倒れていた場合は安全な場所まで移動させる。 ②意識の有無を確認。無かった場合は声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて、反応を確認（体をゆすったり、動かしたりしない）。 ③大声で周りの人に応援要請し、消防に通報、気道の確保、人工呼吸を行う。 ④外出血、特に大出血を認めた場合は直ちに止血の処置を行う。
《地震の場合》	①激震等の緊急事態が発生したら、安全な場所への一次避難を実施する。 ②地震がおさまったら主電源を切ること。二次避難の実施。 ③安全なことを確認の後、保管品の状態確認。 ④保管品の飛散状態を確認し、液体物での漏れ等で水質や土壤汚染が考えられる場合は大声で周りの人に応援要請する。 ⑤液体物での漏れ等が確認されれば、直ちにウエス等で周囲を囲い、流失拡大の防止に努める。 ⑥安全管理責任者に報告し、その後の処置を仰ぐ。 ⑦津波警報が発令された場合は、大事なものだけを持ち、4階現寸場へ全員避難する。
《火災の場合》	①火災等の緊急事態が発生したら大声で周りの人に通報。その後構内放送で応援要請する。危険と判断したら即座に非難する。 ②応援要請を受けたものは直ちに消防へ連絡し、消火活動にあたる。 ③対応不可能と判断した場合は、直ちに消防へ連絡し、消火活動を続行する。危険と感じたら即座に避難を開始する。 ④消防管理者に報告し、その後の処置を仰ぐ。
5. 緊急連絡網	緊急時の緊急連絡網は別紙あり。
6. 防災訓練	実施日：平成29年11月9日 手順通りに実施出来ました。

代表者による評価

日本は多くの自然災害に見舞われる国です。熊本や大阪・北海道の地震、台風による風水害等甚大な自然災害が今年も日本の国土を襲っています。7～8月の異常な気温上昇もはや毎年の恒例になっています。世界に目を向けても同じような災害が発生しています。地震の発生は人間の力で防ぐことは出来ませんが、風水害や気温上昇は人間の知恵と努力で防ぐことはできないでしょうか。環境対策でも『気候変動枠組み条約締結国会議（パリ協定）』に参加しなかったり、離脱したり、約束を守らなかったりの国があります。各国“自分の国ファースト”ではなく“地球ファースト”で物事に当たって欲しいです。



今年度の弊社の環境評価は、前年度よりも良く、17項目中14項目クリアできました。【電気使用量】や【水使用量】・【化石燃料2種】がクリア出来たのは喜ばしい事です。が、【燃えるゴミ】がクリア出来なかったのは残念です。基準年の年が少なかったのか、数字の取り方が年ごとにしっかりしてきて数字が上がったのでしょうか。



【塗料材】はA社の支給材が年々増加しているので、それにつられて【有害化学物質】も多くなって来ています。

総合評価としては、『良い』ということですが、一番評価できることは【二酸化炭素排出量】がクリアされたことでしょう。これが今後も続けていけたら・・・と思います。

ea21の活動は、来年度も目標値を下回るように更なる努力・協力を従業員にお願いし、協力会社様にも同様な対応をして頂くように、会社一丸となって持続可能な循環型社会の構築を目指していこうと思います。これからもよろしくお願い致します。

平成30年12月

株式会社 柏原鐵工所
代表取締役社長 柏原正明

来年度に向けて

P8 からの続きです。

今年度も【二酸化炭素排出量】がクリアされたことは喜ばしいことであり、実測値で見ても昨年より540kg-CO²とわずかですが減少しています。このことは一番重要なことだと思っています。【グリーン購入】は比較項目に入っていませんが、昨年と同じ39品目で事務用品がほとんどですが、今後も続けていきたいと思っています。



昨年よりもクリアできたのが2項目増え14項目になったことは喜ばしいことで、残りの3項目のクリアに向けて重点課題が見えてきました。

1. 産業廃棄物や一般廃棄物のゴミの量を減らすこと、
2. 施工主様に有機化学物質含有量の少ない塗料材を推奨すること、

今後も続けていこうと思う良い点としては、

1. 節電は効果的にできていること、
2. エコドライブ運転が実践されていること、
3. 資源投入量が少なくなりエネルギー効率が上がっていること、
4. 二酸化炭素排出量の削減に貢献していること、

等です。これらの事は来年も続けられるようにしたいです。

来年度は、取り組みに使用したガイドラインが『2009年版』から『2017年版』になりますので、今まで以上に取り組んでいかなければならないと考えます。



現在環境問題としてクローズアップしているのが海洋汚染で、プラスチックゴミが海に流れて5mm以下の破片（マイクロプラスチック）となり海洋生物の口に入ることによって魚類などに影響が出ていることです。自宅近所を散歩していても川には空のペットボトルや缶・レジ袋などがいつも流れています。レジ袋の有料

化、ストローの紙製品化、などが行われるようになってきました。が、もっと大事なことは、こういうプラスチック製品を道路や川に捨てること無く分別・回収して再利用することだと思っています。

皆様のご協力をお願いします。



ea21の活動について何か疑問・質問・意見等ありましたら担当者まで申し出てください。来年度に活かせるようにしたいと思います。

最後までお読み頂きありがとうございました。

平成30年12月

ea21 担当者より

